

広報

ただみ

1
2019 月号
No. 584
平成31年1月10日



今月の表紙

今月の表紙は、12月7日に開催した「かるがもク
ラブ」で、元気に遊ぶ菅家新くん(黒谷)です。

新くんは、ボールや風船が入ったプールでお友達
と遊び、そして民生児童委員さんと一緒に風船バレ
ーをしながら楽しく遊びました。

(関連記事:P11)

《特集》

新年のごあいさつ……………2～3

映画「峠 最後のサムライ」……………4～5

第47回只見ふるさとの雪まつり告知… 6～7

《News&flash》…………… 8～9

《町の話》…………… 10～13





只見町長
菅家三雄

未来につなぐ 町づくりを目指して

明けましておめでとうございます。平成三十一年の初春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆さまにおかれましては、つつがなく輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃町政にお寄せいただいておりますご支援ご協力に対し心から感謝申し上げます。

さて、平成三十一年を迎え、今年には町制施行六十周年の節目を迎える年となります。人口減少対策こそが私の最大の使命との認識のもと、本年も第七次振興計画の「ブナと生きるまち、雪と暮らすまち、心豊かに生きるまち」を理念とし、五つの施策を柱に取り組みます。

第一は、「自然と共生するまちづくり」であります。只見ユネスコエコパークは、本地域の豪雪に特徴づけられる豊かで貴重な自然環境や天然資源、及びそれを抛り所とした地域住民の伝統的な生活・文化が高く評価され、平成二十六年六月に登録されたものであります。「自然首都・只見」宣言から十年を経た昨年十月には、「全国ブナ林フォーラム」を開催し、只見町を全国に発信する貴重な機会となりました。引き続きブナ林フォーラムの成果を活かし、ユネスコエコパークの理念の普及と共に更なるブランド向上にも結び付けてまいります。

第二は、「文化に根づく人づくりと学び続けるまちづくり」であります。少子化が進む中、将来の只見町を担う児童、生徒の教育は重要課題であります。今後も、「只見学」を中核とした、地域を持続させていく教育、保育所から高校まで連携した学力向上対策、教育環境の充実に努めてまいります。更に、民具収蔵庫の整備を進め、地域文化の振興及び継承に努めてまいります。

第三は、「住民が主役のまちづくり」であります。町づくりには、住民各位の積極的な参加が必要不可欠であります。人口減少などにより地域の活力が低下する中、それぞれの地域特色を活かし、町全体の活性化に結び付けることが重要だと考えます。地域づくりを担う振興センター間の連携を二層強化し、地域コミュニティづくりの支援に取り組んでまいります。また、町内及び周辺地域への交通体系を見直し、生活交通手段の充実に努めてまいります。

第四は、「住みやすいまちづくり」の推進であります。高齢者の皆さまが、住み慣れた地域で安心、安全な環境で過ごされ、いつまでも健康で町づくりに参加をいただくことが重要と考えます。そのため、引き続き保健・福祉・医療の連携を図り、健康で生きがいのある高齢者対策を推進してまいります。更に、子育てを地域

全体で支援する環境を整え、妊娠・出産・子育てまで切れ目なくサポートしてまいります。

第五は、「働きがいのあるまちづくり」であります。近い将来、JR只見線の再開通や国道二八九号八十里越の開通など、本町を取り巻く交通インフラ環境が大きな変化を迎え、交流人口拡大や産業振興など多岐にわたる効果が期待されます。それらの環境の変化を最大限生かしていくため、地域資源を活かした観光交流の拠点と地場産品を活かした地域振興の拠点となる道の駅の整備を進めてまいります。また、稲作、夏秋トマト、花卉栽培などの振興のほか、Uイーターンの促進や町内企業に対する支援などにより、農林商工業の振興を図り、雇用の拡大及び町内経済の活性化に努めてまいります。

更に、人口減少対策を目的として、昨年四月に立ち上げたプロジェクトチームの議論を踏まえ、「くらしの向上」、「交流人口の拡大」、「地域の活力・生産性向上」の三つの柱を中心に、人口減少に歯止めをかけ、この美しい只見町を未来の世代につなぐため、全力で取り組んでまいります。

結びに本年が皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

新年のごあいさつ

新たな視点で

町民に寄り添う議会



只見町議会議長
齋藤 邦夫

明けましておめでとうございませ
す。只見町議会を代表して、謹んで
新年のご挨拶を申し上げます。皆
さまには健やかに新春をお迎えの
こととお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返ると国外に
おいては、平和な日本にとって関心
の高い初の米・朝首脳会談が実現
し、更に、韓国と北朝鮮首脳による
核の無い朝鮮半島の実現と平和共
存が確認されました。一方、世界経
済力第一・二位の米・中の貿易不
均衡問題と、報復関税、年末の株
価下落などトランプ大統領の言動
が関係諸国に不安と混乱を与え、
世界が翻弄された一年でもありま
した。また、地球の温暖化、異常気
象はインドネシアの地震や津波の
発生、国内では西日本の豪雨災害
をもたらしました。

国政は自民党総裁選挙で安倍
晋三氏が三選を果たし、引き続き
国政を担うこととなりました。

国は、今日の少子高齢社会の中
で、成人年齢を二十歳から十八歳
に引き下げる民法改正と国民投票
の年齢引き下げなど若者に積極的
な社会参加を促す法改正が行われ
ました。

また、県知事選挙は現職内堀雅
雄知事が避難地域の復興・再生、
ふくしまプライドの確立などを訴
え、実績が評価され再選を果たさ

れました。

さて、本町は役場庁舎の暫定移
転、明和振興センターの耐震補強
工事、只見町青少年旅行村の改修
整備がほぼ完了しました。福祉政
策や教育振興は、更にきめ細かな
行政サービスが要請されています。
一方、JR只見線の復旧は、念願の
鉄道軌道法も改正され、六月には
工事起工式が行われました。国道
二八九号八十里越は、県境から叶
津地内の整備が進められています。
また、「全国ブナ林サミット」は「自
然首都・只見」宣言十周年を記念
して開催され、只見ユネスコエコ
パークの貴重な自然環境を人類共
通の財産として、次世代に引き継
ぐため活発な意見交換が行われま
した。

町の基幹産業である農業は、七
月の干ばつの影響により米作は若
干減収し、トマト、花卉などは高値
販売となりました。町観光は宿泊
業者の高齢化などにより旅館・民
宿が激減し、観光客の受け入れ対
策が喫緊の課題となっております。
商工部門では、町誘致企業や新規
企業など技術革新による努力が評
価される明るいニュースがありま
した。

さて、今年は町制施行六十周年
の節目の年を迎え、私たちは歴史
と先人の努力や功績に学びながら

町政に取り組んでまいりたいと思
います。

本町は人口減少対策が最大の課
題であり、一段と過疎化が進む地域
社会を再生するため具体的な行動
計画をたて、新しい視点で町民に寄
り添う町づくりが求められていま
す。また一方では、只見線の全線復
旧、五年後の国道二八九号の開通
により、日本海経済圏と太平洋・
首都圏との結びつきが強まり、年
間五十万台に及ぶ交通量の増加が
見込まれます。このため、観光交流
人口の増加など地域経済に与える
インパクトは計り知れず、私たちは
このチャンスを見逃さず、急ぎ後悔の
ない対策を講じなければなりません。

新年にあたり、只見町議会は二
元代表制の下、通年議会制度をフ
ルに活かし、山積する町政課題にス
ピード感を持って取り組んでまい
ります。また、議会と町当局は相互
の役割を尊重するとともに、切磋
琢磨しながら町民生活の向上と只
見町発展のため全力を尽くします
ので、皆さまの尚一層のご指導・ご
支援をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆さまにとりま
して実りある飛躍の年となります
ことを心から祈念して年頭のご挨拶
といたします。

只見町で没した河井継之助が映画化

映画「峠 最後のサムライ」製作支援



▲河井継之助記念館に設置してある継之助像

— 司馬遼太郎「峠」原作

継之助を描いた映画

戊辰戦争150年の節目を迎えた昨年の9月、作家・司馬遼太郎氏の名作小説「峠」が初めて映画化されると発表されました。



▲継之助が使用したガトリング砲の複製

映画は「峠 最後のサムライ」と題し、150年前の戊辰戦争を長岡藩家老として戦

い、只見の地で没した河井継之助を主人公に描いた作品です。最後まで信念をもって激動の幕末を生きた最後のサムライ・継之助役を演じるのは役所広司さんで、継之助の妻・おすが役に松たか子さん、長岡藩老公（前藩主）・牧野忠恭（ゆき）役に仲代達矢さんなど豪華キャストが出演します。メガホンを取るの、黒澤明監督の助監督として数々の名作に携わり、初監督作品「雨あがる」で日本アカデミー賞最優秀作品賞を受賞した小泉堯史（たかし）監督です。撮影は長岡市や新潟市など新潟県内を中心に、9月から11月まで行われました。映画は2020年に全国公開される予定です。



▲河井継之助記念館に展示されている継之助の「終焉の間」

- interview -



奥会津只見 継之助会 会長 角田 行雄

映画「峠 最後のサムライ」を応援しようと始まったこの活動は、わずか2週間ほどの間に多くの皆さまから沢山のご協賛を賜ることができ、大変感謝しております。これもひとえに、映画に対する期待や継之助への関心の高さの現れと感じております。短い期間での支援活動であったため、協賛のお願いをすることができなかつた方々もおり、非常に残念な部分もありますが、皆さまから集まった協賛金は、長岡商工会議所にしっかりと渡すことができました。今後も引き続き、映画の完成披露試写会の誘致などに向けて努力し、この映画を契機に継之助ファンを増やしたいと考えています。

— 映画応援組織を発足し

約80万円の協賛金贈る

歴史ガイドや観光団体などの町内の有志が集まり「奥会津只見 継之助会」を結成し、映画「峠 最後のサムライ」の製作を応援しています。継之助会の会員は、河井継之助記念館や河井継之助ボランティアの会、町観光まちづくり協会、文化協会、福祉関係者などの継之助ファン12名で構成されて

おり、長岡商工会議所や小千

谷商工会議所など新潟県内の5団体でつくる「映画『峠 最後のサムライ』製作支援の会」に参画し、11月14〜27日までの期間、町内を中心に協賛金を募りました。町民や事業所などに協賛を呼びかけ、300を超える個人・団体から80万9千300円の協賛金を集めました。

12月3日、継之助会の角田



▲丸山会長（前列右）に寄付金を手渡す角田会長（前列中）と同席した皆さん

行雄会長など4名の会員が、製作支援の会事務局がある新潟県長岡市の長岡商工会議所を訪れ、製作支援の会会長の丸山智会頭に協賛金を手渡しました。協賛金は映画製作会社の松竹に贈られ、製作や宣伝に活用される予定です。

今年は北海道胆振東部地震の復興応援をテーマに開催！

第47回只見ふるさとの雪まつり告知

開催日/2月9日(土)~10日(日)

時間 午前10時~午後8時30分

前夜祭/2月8日(金)

時間 午後7時~午後8時

会場/JR只見駅前広場

問合せ先：只見ふるさとの雪まつり実行委員会

(事務局/観光商工課内)

電話/0241-82-5240

HP/ <https://tadamisnowfes.com/>

第47回目となる今回の雪まつりは、「北海道胆振東部地震の復興応援」をテーマに開催されます。大雪像には北海道庁旧本庁舎である「赤れんが庁舎」を制作し、会場内では北海道の物産展を催します。北海道物産展の売り上げの一部は、復興応援として北海道に寄付される予定です。

今回の雪まつりについて、次頁で紹介いたします。

—テーマは北海道胆振

東部地震の復興応援—

町をあげて開催される「只見ふるさとの雪まつり」は、県内外から2万人を超える観光客が毎年訪れる冬の一大イベントです。圧巻の大雪像や冬の夜空を彩る祈願花火大会、地元郷土料理が並ぶゆきんこ市などが訪れた人々を魅了します。

雪むすめが決定しました

12月4日、役場で「雪むすめ」の委嘱状交付式が行われ、菅家町長から佐藤絢佳さんと齊藤咲子さんに委嘱状が手渡されました。雪むすめ2名が今年の雪まつりを盛り上げていきますのでよろしくお願いいたします。



▲写真／雪むすめに委嘱された佐藤さん(右)と齊藤さん(左)



あやか
佐藤 絢佳さん
職場／只見中学校教諭
出身／会津若松市

只見1年目でこのような大役に就かせていただいて光栄です。只見をPRできるように楽しみながら取り組んでいきたいと思います。一生懸命頑張りますので皆さんよろしくお願いいたします。



さきこ
齊藤 咲子さん
職場／只見町役場
出身／福島市

只見高校に通う山村教育留学生として只見に移り住んでから5年。今回大役に抜擢され、少し不安もありますが、少しでも雪まつりを盛り上げられるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

雪まつりTopics

大雪像



今年のテーマに沿って北海道庁旧本庁舎である「赤れんが庁舎」の大雪像を制作します。赤れんが庁舎は、1888(明治21)年に建てられ、アメリカ風ネオ・バロック様式によるれんが造りが特徴です。高さは33mで、当時は国内有数の大建築物でした。1969(昭和44)年3月には、国の重要文化財の指定を受け、現在は年間61万人以上が訪れる人気の観光スポットになっています。

2月8日(金) 前夜祭

◆シンガーソングライター 宏菜 LIVEステージ(午後7時～)
2年前の六角精児バンド「只見線のうた発売記念ライブin只見」に出演された宏菜さんのライブ。祖父母がJR只見線沿線出身者で只見線に縁を感じている宏菜さんの只見線オリジナルソング「只見線に乗ろうよ」を披露します!



▲宏菜

2月9日(土) 1日目

◆人気ものまねタレント ホリ 爆笑ものまねステージ(午後2時予定)
木村拓哉さんのものまねで一世風靡した人気ものまねタレント ホリさんの爆笑ものまねステージ。武田鉄矢さんやテリー伊藤さんほか、子どもから大人まで楽しめる100を超えるものまねレパートリーで只見の雪まつりを盛り上げます!

2月10日(日) 2日目

◆あばれる君、クールポコ。、アントワネット 爆笑ライブ(午後2時30分予定)
福島県出身で2015年R-1ぐらんぷり決勝進出を果たしている人気お笑い芸人・あばれる君、「な〜にい〜!?やっちゃったな!!」でお馴染みの杵と白を使ったコンビ・クールポコ。、ぐるナイおもしろ荘などで活躍する漫才コンビ・アントワネットの3組が魅了します。



▲ホリ



▲あばれる君



▲クールポコ。



▲アントワネット

文科省の社会教育功労者表彰

堀金保男さん(小林)が受賞

12月3日、文部科学省の「平成30年度社会教育功労者」として表彰された元明和地区読み聞かせボランティアの会会長の堀金保男さんへの伝達式が役場で行われました。これは、堀金さんが平成10年度から19年間、昔話を通じて郷土の歴史や文化を子どもたちに伝承し、教育力向上に努めた功績が認められたもので、県内では堀金さんを含め2名が受賞しました。

伝達式では、県南会津教育事務所の佐藤則之所長から堀金さんに表彰状と記念品が手渡され、堀金さんは「19年間の思い入れがあるので、大変光栄です」と話されました。



▲表彰状を手にする堀金さん(中央)と伝達式に同席した県・町関係者の皆さん

迅速な消火活動で生命財産を守る

只見出張所に水槽付ポンプ車

12月4日、南会津広域消防本部只見出張所に新しく導入された水槽付消防ポンプ車のお披露目が役場で行われ、只見出張所の塩生博文所長が菅家町長に新車両を紹介しました。この新車両は、1,800リットルの水を常に積載し、約5分間放水できることが特徴です。これにより、火災現場では水源確保と同時に初期消火が可能で、これまでより迅速な消火活動ができ、さらに三連はしごなど装備も充実しています。

お披露目では、塩生所長が「町民の生命・財産を守るため、最大限に有効活用していきたい」と話しました。



▲新車両を紹介した塩生所長(右)と説明を受けた菅家町長(左)

日赤表彰で最高賞の社長感謝状

只見町赤十字奉仕団が受賞

12月5日、日本赤十字社の表彰で奉仕団功労の最高賞「社長感謝状」を受賞した只見町赤十字奉仕団を代表し、五十嵐聰江委員長が役場で菅家町長に受賞報告しました。只見町赤十字奉仕団は昭和63年に設立され、チャリティーバザーや雪まつりでのなめこ汁の提供など様々な活動を長年続けてきました。今回、それらの功績が認められ受賞したもので、県内では4つの奉仕団が選ばれました。

受賞報告では、五十嵐委員長が「先輩・会員各位の努力の積み重ねにより受賞できました」と話し、菅家町長がその功績を称えました。



▲菅家町長(右)に受賞報告した五十嵐委員長(中)と町赤十字奉仕団事務局員(左)

女性消防班が有事の際に備える

上級救命講習で応急手当が

12月9日、応急手当の知識と技術を身に付ける「上級救命講習」が南会津広域消防本部只見出張所で開かれ、只見町消防団女性消防班7名が参加しました。これは広域消防、消防団、町が連携して開催しているもので、有事の際に備え女性消防班が受講したものです。

只見出張所の救命士が講師を務めた講習会では、心肺蘇生法やAEDなどの所定の講習に加え、消防士の早朝訓練や救急・消防車両の見学なども行われました。最後の筆記・実技試験では参加者全員が見事合格し、「上級救命技能認定証」が交付されました。

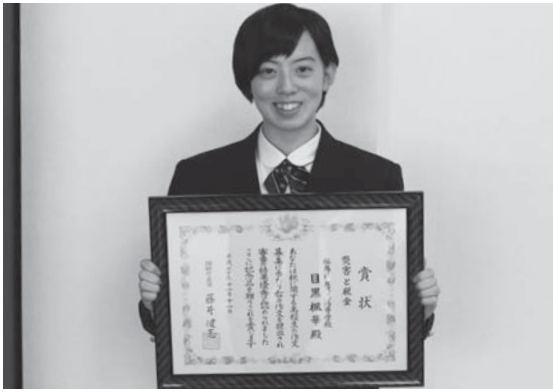


▲8時間の上級救命講習で知識と技術を身に付けた女性消防班7名の皆さん

「国税庁」税に関する高校生作文 目黒楓華さんが最高賞に輝く

国税庁の「平成30年度・税に関する高校生作文」の入選者が11月9日に発表され、全国の1810校21万9163点の応募の中から、只見高校1年の目黒楓華さんの作文が最高賞の「国税庁長官賞」に輝きました。

目黒さんの作文は「災害と税金」と題し、平成23年に只見町を襲った新潟・福島豪雨の復旧工事を題材に、国、県、町の税金の役割などについて書かれました。受賞を受けた目黒さんは「受賞してうれしいのと同時に、自分の作文を通して税金について多くの人に知ってもらいたい」と話されました。



▲最高賞の「国税庁長官賞」に輝いた目黒楓華さん

認知症について学ぶ 「認知症講演会」を開催

12月8日、認知症について理解を深める「認知症講演会」が季の郷湯ら里で行われ、約90名が参加しました。講師に朝日診療所医師の森冬人先生を迎え、認知症や認知症の方との接し方などについて講演されました。認知症は加齢に伴う物忘れとは違い、記憶力や判断力の低下により起こります。認知症を予防するためには禁煙や節酒、適切な食事や運動を行い、さらに睡眠薬の内服を少なめにすることが大切です。最後に「地域の人みんなに認知症を知っていただくことで、認知症になっても安心して暮らせるようになる」と話されました。



▲認知症を理解し安心して暮らせるまちづくりが重要と話す森冬人先生

叶津在佳の中野トシエさんに知事賀寿 12月9日で満百歳

12月9日で満百歳の誕生日を迎えられた中野トシエさん（叶津在佳）の知事賀寿贈呈式が15日、ご家族同席のもと季の郷湯ら里で行われました。

贈呈式では、県から知事賀寿状と記念品、町からは祝い金などが贈られ、長男の勝太郎さんが「母は家族みんなに支えられ百歳を迎えられたこと大変うれしく思います」と謝辞を述べられました。

トシエさんは子ども4人、孫5人、ひ孫8人に恵まれ、今でも畑仕事を楽しんでいますが、長寿の秘訣は、好き嫌いでせずに1日3食しっかり食べることでだそうです。



▲家族や関係者が見守る中、ひ孫の佐藤もえさん(左)から花束を受けるトシエさん(右)

小林の橋川サタイさんに知事賀寿 12月17日で満百歳

小林の橋川サタイさんが12月17日、満百歳の誕生日を迎えられました。

サタイさんは現在、神奈川県にお住まいの三女の船木まき子さんのご自宅に一緒に居住されており、県からの知事賀寿状や町からのお祝い金などは、神奈川県のご自宅に贈られました。

健康状態も良好だというサタイさんは、毎日かかさず散歩を楽しんで体を鍛えています。長寿の秘訣は散歩に加え、好き嫌いがなく3食しっかりと食べることでだそうです。



▲花を手にして写る満百歳を迎えられたサタイさん

方言で町の文化や魅力を発信！

「CM大賞2018」に只見町参加

11月25日、KFB福島放送の「ふくしまの元気！応援CM大賞2018」の審査会・公開収録が郡山市内で開催され、只見町も参加しました。各市町村34作品がエントリーした今回、只見町観光町づくり協会の方々を中心に、方言で只見の文化を描いた作品を制作しました。結果は残念ながら入賞とはなりませんでしたが、CMを通じて町の魅力を発信しました。



▲番組は12月22日に同局で放送され、只見のCMも年10回放送される予定です。



◀ 剣道競技で優勝と3位を飾った只見剣友会A・Bチームの皆さん

▶ 男女混合バレー競技で準優勝したTADAMIチームの皆さん



只見町民が大活躍！

「南会津郡スポーツ大会」

11月25日、市町村体育協会南会津地域連合会主催の「第5回南会津郡スポーツ大会」が郡内3会場で開かれました。只見町からは、剣道競技に「只見剣友会」のAとBチーム、男女混合バレー競技に「TADAMI」チームが出場しました。3チームで争われた剣道競技では「只見剣友会A」が優勝と同Bチームが3位、7チームで争われたバレー競技では「TADAMI」チームが準優勝を飾り、只見町民が活躍した大会となりました。

この大会は、郡内の町村民の交流や体力づくりなどを目的に開催しているもので、剣道・男女混合バレー・卓球の3競技で行われました。

只見小学校でESD(海洋教育)の公開授業研究会

「海洋教育スクールプログラム実践発表」

11月30日、ユネスコスクールに認定されている只見小学校が実践するESD(海洋教育)の公開授業研究会「海洋教育スクールプログラム実践発表」が同校で初開催され、町内外から80名以上の教育関係者が参加しました。これは、只見と海のつながりを意識した海洋教育の取り組みを公開し、多くの参加者と研究を深めるもので、4年生と6年生の授業が公開されました。4年生の公開授業では、3名の只見町食生活改善推進委員会の方々を講師に迎え、「海とともにある只見の食文化」



▲只見町観光町づくり協会、只見町社会福祉協議会、役場の講師3名からアドバイスを受けた6年生の公開授業

をテーマに只見の郷土料理「ざく煮」と海の食材のつながりについて学びました。また、6年生の授業では、まちづくりに携わる町や団体から3名の講師を迎え、「町の課題と未来展望」をテーマに「受け継がれる観光の町」「雪を活用する町」「自然が楽しめる町」の視点で、児童たちがまちづくりについて提案しました。公開授業後には、分科会や全大会、東京大学の先生による講演会などが行われ、今後の教育活動の充実を図りました。

少し早めにサンタクロースが登場！ 「朝日クリスマス会」開催

12月2日、朝日地区地域づくり委員会が主催する「クリスマス会」が朝日振興センターで開かれ、町内の親子連れなど約100名が参加しました。

一足早めに催されたクリスマス会では、ゲームやビンゴ大会、プレゼント交換などが行われたほか、ブナりんも登場し、子どもたちは一緒にクリスマスを楽しんでいました。さらに、ALT（外国語指導助手）の先生と委員会メンバーがサンタクロースに扮し、子どもたち一人ひとりにお菓子のプレゼントを手渡しました。サンタクロースからプレゼントをもらった子どもたちは大喜びし、会場は笑顔に包まれていました。



▲サンタクロースからプレゼントを受け取る子どもたち

親子でクリスマスを楽しむ！

かるがもクラブで「クリスマス会」開催



▲クリスマス会を楽しんだ参加者の皆さん

12月7日、かるがもクラブの「クリスマス会」が保健福祉センターで開かれ、12組の親子が参加しました。民生児童委員3名の協力のもと開催されたクリスマス会は、クリスマスツリーの飾り付けやクリスマスソングを歌い、みんなで楽しみました。続いて、サンタクロースからお菓子やお腕などのプレゼントが手渡され、子どもたちは嬉しそうに受け取っていました。

サンタクロースが自宅にやってくる！

「子供たちに夢を贈る会」が夢とプレゼントを届ける

12月24日、只見青年会と仲間たちによる「子供たちに夢を贈る会」が行われ、子どもや高齢者にクリスマスプレゼントが届けられました。これは、町内の青年や高校生などの有志がサンタクロースとなり、只見・朝日地区を対象に各家庭から預かったクリスマスプレゼントを子どもや高齢者に届けるという事業で、今年は8軒の依頼がありました。当日は、「メリークリスマス」と言いながらサンタクロースが自宅を訪れ、その姿を見た子どもたちは大喜びで出迎え、サンタクロースからプレゼントを受け取っていました。プレゼントをもらった子どもたちは感謝の気持ちを伝えていました。



▲サンタクロースから夢とプレゼントを受け取る子どもたち

只見町出身者と交流を深める 「ふるさと只見の集い」開催

11月25日、只見町出身者などで結成するふるさと只見会の「ふるさと只見の集い」が東京の四谷で開催され、首都圏在住の只見町出身者の方々や町関係者など総勢58名が参加しました。町からは菅家町長、酒井右一副議長、目黒長一郎商工会長、渡部理一まちづくり観光協会事務局長が参加しました。集いでは、戊辰150周年記念として長浜在住の大宮旭溪さんによる琵琶演奏「白虎隊」や商工会提供による只見の特産品があたるビンゴ大会などが行われ、只見町出身者との交流を深めました。ふるさと只見会世話人代表の目黒信さんは「今後も会を盛り上げていくため、ふるさと只見会への参加者を募集しています。希望の方は事務局の観光商工課までお問い合わせください」と話しました。



▲大宮さんの琵琶演奏を聞き入る参加者の皆さん



▲グループ内の振り返りを発表する山内さん

を多くとり、食べる順番を変えるなど工夫しています。体脂肪率も下がり筋力もついて効果を実感しています。今では家族もまき込んでみんなで健康意識を高めています」と話し、講師の吉成さんは「全員が目標達成できるように一緒に頑張りたい」と話しました。

健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」 全参加者で56.2kg減量！

12月13日、只見町とRIZAP（ライザップ）が連携する健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」が只見振興センターで開かれ、受講生20名が参加しました。

全8回のうち中間となる5回目の開催となった今回は、これまでの振り返りを中心に行われました。RIZAPの中間発表によると、参加者全20名の合計減量数は56.2kgで、効果を実感できるようになってきています。

講座に参加する山内泰生さんは「約1ヶ月半で無理なく体重が2kg減少しました。一番気を付けているのは食事で肉類

只見町が民具收藏のモデル地域として 中国から視察団を受入れ！

12月11日、中国の雲南省中国紅河学院の楊六金教授と広東貿易学院の程亮副教授が只見町を訪れ、国指定重要文化財「会津只見の生産用具と仕事着コレクション」を視察されました。これは、急速に近代化が進む雲南省で、多くの民具が捨てられている問題があることから、今回民具收藏のモデル地域として只見町を視察したものです。只見方式で集めた民具や整理したカードを見学した楊教授は「今後、雲南省の博物館と只見町の交流を進めたい」と話されていました。



▲黒谷の民具收藏庫を視察する楊教授(中)、程副教授(右)と案内する町文化財調査委員で元福島県立博物館職員佐々木長生さん(左)

お正月を迎える準備！ 「正月飾り講座」を開催

お正月を迎えるための「正月飾り講座」が只見・朝日振興センターでそれぞれ行われました。12月4日、朝日振興センターの「しめ縄・しめ飾り講座」では渡部稔さん(福井)を講師に迎え、10名の参加者がスゲを使って正月飾りを作りました。12月9日、只見振興センターの「しめ飾り講座」では三瓶彰治さん・こずえさん夫妻(叶津)を講師に迎え、10名の参加者がイワシバを使った伝統技法を学びました。



▲只見振興センターの講座で、完成したしめ飾りを手にする参加者の皆さん

美味しい年越しそばを自分で打つ！ 「そば打ち講座」を開催

12月9日、年越しそばづくりを学ぶ「そば打ち講座」が只見振興センターで開かれ、10名が参加しました。講師に只見町そば部会のそば打ち名人3名の方を迎え、そば打ちを学びました。

講座では、水まわしや練り、丸だしといった手順を踏まえながらオリジナルの手打ちそばを作りあげ、各自完成したそばを持ち帰りました。最後に講師が打ったそばを試食し、参加者は手打ちそばの味を堪能していました。



▲美味しい手打ちそばを作った参加者の皆さんと只見町そば部会の皆さん

只見中学校の全校生徒が本場の英語を学ぶ ブリティッシュヒルズで語学研修

12月5～6日、只見中学校の全校生85名が天栄村の語学研修施設「ブリティッシュヒルズ」を訪れ、英語研修を行いました。これは、英語で伝えあう体験を通して生徒たちの語学力向上などを目指したもので、英国の文化やマナーに触れながら英語を学習しました。授業は英国出身のスタッフが講師を務め、全て英語で行われます。生徒たちは積極的に英語でコミュニケーションを図り、楽しく学んでいました。



▲イギリス出身のスタッフが対応しているブリティッシュヒルズ

正しい字の書き方を学ぶ 「習字教室」を開催

12月25日、正月行事の書きぞめを学ぶ「習字教室」が明和振興センターで行われ、小学1～6年生20名が参加しました。講師に墨和会の目黒仁也さん、ふみ江さん夫妻を迎え、「福島県書きぞめ展」の課題を題材に、正しい字の書き方を学びました。1年生はフェルトペンで字の練習を行い、2～6年生は毛筆で「レモン」「初日の出」などの課題を練習しました。児童たちは、字の書き方の基本を学ぶことができました。



▲講師の目黒さんから字の基本を学ぶ児童の皆さん

12月から新しい看護師さんが着任しました!

12月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の小林孟司さんです。小林さんは中学生の時に祖父が病院に運ばれ、懸命に対応する看護師さんの姿を見て自分も目指しました。趣味はスポーツで、中学生からはじめたバトミントンは現在も続けており、バトミントン歴は11年になります。さらに2年前からスノーボードもはじめ、只見の冬を楽しみにしています。朝日診療所では地域医療を学び、今後の業務に活かしたいとしています。「体力に自信があるので頑張ります!」と話す小林さんをどうぞよろしくお願ひいたします。



こばやし たけし
小林 孟司さん
(出身/会津美里町)

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 森 冬人



「認知症の事でお困りですか？」

明けましておめでとうございます。今年も幅広い健康問題の相談ができるように朝日診療所職員一同、町民のために頑張りたいと思います。

さて、あなたの家族や近所には「認知症を持つ人」はいますか？ 認知症の人と話すとき、介護をするときに困ったことはありますか？ 町民のおよそ370人が認知症だと推測されています。老人ホームに入所している方も100人程はいますが、多くの方は地域で生活しています。周囲の人からは「何度も同じ事を言われて疲れる」「急に怒り興奮して大変だ」「財布を紛失して家族のせいにする」など、色々な事を耳にします。

認知症とは脳の細胞が変化して記憶力の低下や判断力の低下が起きる病気です。いくつか種類があります。認知症が心配な際、一度は診療所を受診する事をオススメします。また、町の保健福祉課へ相談することもできます。

認知症は薬でよくなるのでしょうか？ 症状をやわらげる事

はできますが、残念ながら特効薬と言えるとても良い薬はまだありません。良い薬ができればノーベル賞級の大発見です。ただ、認知症の人との接し方を工夫すると良い影響が生まれると言われています。

大事なことは「認知症の人と良い人間関係を作ること」です。そして、家事や着替えなど「自分でできる事は自分でやってもらうこと」です。

認知症をよく知りたい人には町が開催する「認知症サポーター養成講座」をオススメします。また良い本もあります。私のオススメは「家族のためのユマニチュード」です。認知症の病気のこと、どうやって接するのが良いのか書いてあります。診療所待合室にも置いてあります。認知症の症状で困っている家族の方はぜひ一度手に取ってみて下さい。

認知症の人も周囲の人も元気で過ごせる只見町になるよう私たちもお手伝ひいたします。今年も町民の主治医としてよろしくお願ひいたします。

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊

vol.50

あべ としひろ
阿部 利浩



「贅沢に気づく日々」

只見町の教育振興、主に高校の振興、魅力化について仕事をさせていただいています阿部利浩です。赴任してから、小学生対象のプログラミング体験、夏休みのサマースクール、中学校3年生の保護者との進路面談、冬休みのウインタースクール、高校生の町文化祭への出展、只見保育所のクリスマス会のサンタさんなどを教育委員会として担当し、お世話をさせていただきました。皆、これまでに体験したことが無く、ちょっとドキドキ、沢山の発見がある毎日です。夏の生えそろうた緑の稲、秋には黄金色になる稲穂、山一

面の紅葉、畑一面の白いソバの花、枝一面に花が咲いたように雪をかぶった木々、スキー場でしか見られなかった雪山の景色。四季折々、本当にきれいななあ、と見とれてしまうこともしばしばですが、只見の人たちにとっては見慣れたあたりまえのもの。わざわざ時間とお金と労力をかけて、遠くまで出かけなければ目にすることが出来ない人たちがたくさんいるのに、普通に日々出会える。なんて贅沢なことと思ってしまう。水や家族と同じように、普段そこにあるのが当たり前と思っている身の回りのもの、その大きな価値に気付く、この仕事にはそんな贅沢な可能性があるのでは、と感じています。

カエルとサンショウウオの楽園・ただみ

只見町のサンショウウオ③

― タダミハコネサンショウウオの発見 ―

只見町の溪流性のサンショウウオ類はハコネサンショウウオ（以下、普通ハコネ）とタダミハコネサンショウウオ（以下、タダミハコネ）の二種が知られています。そのうち最近になって町内で発見され、二〇一四年に新種として発表されたタダミハコネは、現在のところ只見町と新潟県の三条市・魚沼市でしか確認されていません。町内では主に



▲タダミハコネサンショウウオのオス（只見町西部）

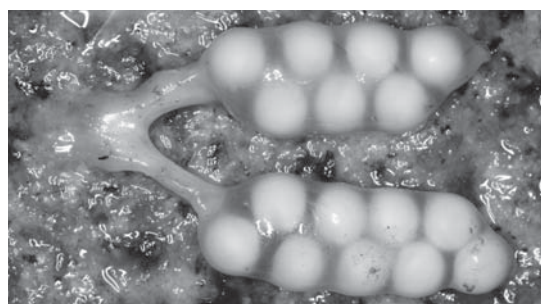
只見川より西側の地域を中心に分布しており、只見町の自然を代表する固有種のひとつです。

新種タダミハコネサンショウウオの発見は、私が京都大学で博士研究員をしていたころに只見町の「変わったハコネサンショウウオ」の生息地を町の方に案内していただいたのがきっかけです。私は以前から全国のハコネサンショウウオの仲間を調査していましたが、タダミハコネとの出会いは特に印象的なものでした。二〇一三年一月に調査を行うために只見町を訪れて案内された場所は、水田の裏から少しだけ山に入ったところの斜面にある湧水でした。そこで大きめの石をめぐったところ、一〇匹以上の成体があるのちに潜んで産卵の時を待っていました。その光景に圧倒されてその時は気づかなかったのですが、そこに集まっていた成体はすべて背中が黒っぽく、普通ハコネにしては

変わった体色をしていました。その一部の個体を研究室に持ち帰り、DNAの分析や外部形態観察をおこなったところ、檜枝岐村や町内の他の場所で捕獲した普通ハコネとは遺伝的にも形態的にも異なる新種であることが判明しました。最初の調査では産卵は確認できなかったため、翌月に再訪し追加の調査を行いました。人家の裏山とはいえ二二月末の只見町は大変な積雪で、町民の方に助けていただきながら前回の何倍も時間をかけて現場にたどり着き、奇跡的に卵囊を確認することができました。ハコネサンショウウオの仲間は地下水脈中で産卵するため卵囊の発見は困難で、現在のところタダミハコネの卵囊は町内のその場所以外では発見されていません。

タダミハコネは、外見的には背中に模様がなくほぼ真っ黒いというのが大きな特徴で、体の側面や腹側には銀白色の点が散りばめられています。普通ハコネの背中に黄土色の縦帯があるのとは違い、派手さはありませんがとても渋い美しさがあります。また、生體的にもかなり独特で、上記のように産卵期が雪が降り始める直前の十一月頃であることがわかっています。普通ハコネが雪解けが終わる初夏の六月ころに産卵するのとは対照的です。タダミハコネは近縁種である普通ハコネと分布が重なっており、町内では同じ溪流の中でも両方の種が生息しています。繁殖時期がずれていることが二種の共存を可能にしている一つの要因と思われるのですが、二種の生態に他にどのような違いがあるのか、現在調査を進めています。

タダミハコネの成体は高温と乾燥に弱く、涼しく湿った場所を好みます。夜行性で、昼間は林床の落葉や岩陰のほか、山中の湧水地のまわりに潜み、普段は目にすることは稀です。一方、溪流の中では普通ハコネとともに幼生（上陸前の子供）を簡単に見ることが出来ます。幼生の外見は普通ハコネによく似て、同様に黒い爪を持つており、成体と同じく背中が真っ黒な個体が多いように見守っていきたいものです。



▲タダミハコネサンショウウオの卵囊。直径5ミリほどの大きな卵が少数入った1対の卵囊を産みつける（只見町西部）

です。溪流で幼生を見つけたら背中の模様を見比べてみてください。タダミハコネは最近になってその存在が認識され、現在では「只見町の野生動植物を保護する条例」によって保護されるようになりました。しかし人間との関係は今に始まったことではなく、代々続く地域の人々の営みの陰でひっそりと息づいてきました。これからもタダミハコネが只見町の豊かな自然の象徴として人々と共存していけるよう見守っていきたいものです。



町民文芸

只見短歌会

十一月詠草

大塚栄一

指導

大根を台車に積みて運ぶ道コスモス群れゐて心なごむも

馬場 八智

年毎に忘れ多しと言ふわれに大人の証と友は明るし

目黒 富子

オレンジの風船透かし外を見る孫は夕焼けみたいとはしゃぐ

新国由紀子

紅葉も終りて秋遠なりしかと思ひし今朝は初雪の降る

関谷登美子

病院の静もる深夜に看護師の廊下見廻る靴音響く

渡部ゆき子

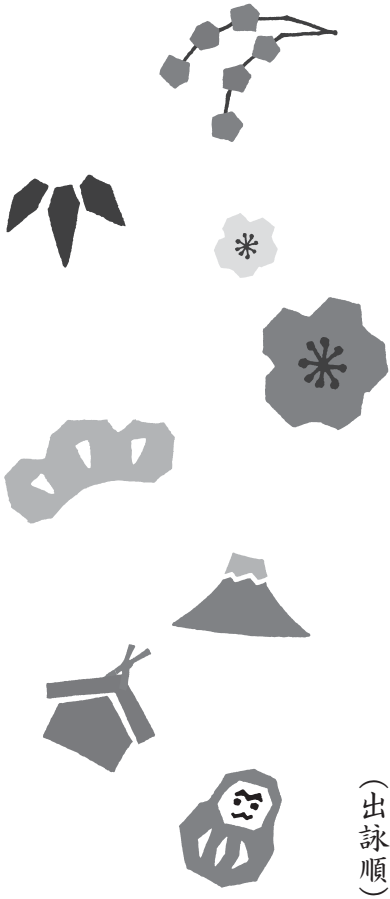
取り残す黄色や緑の白菜は花のごとくに冬畑はたに映ゆ

渡部ヨリ子

認知症の人多き苑の介護士ら幼に物言ふごとくにやさし

新国 洋子

(出詠順)



只見俳句会

十二月例会

目黒十一

指導

嬰鑠や百一歳の初詣
恙無く屠蘇を酌みけり四世代

吉 児

やや重く五年連用日記買う
師走とて許すことなく訃報かな

幸 生

片すみに覚え書きする秋仕舞
野も山も庭の敷石冬近し

都

早朝の窓を横切初鴨来
数へ日や松本清張読み終えて

味代子

愚痴ひとつ菜漬の石の重さかな
たわいなき夫にさからい悴みて

弘 子

浅漬の酢のはしりたる初昔
終活の話へたどる炬燵かな

礼

電子音夫の熱爛丁度よし
食細くなりても美味し冬至南瓜

一 穂

若さとは素晴らしきもの冬木立
冬の海朽ちたる店の昔かな

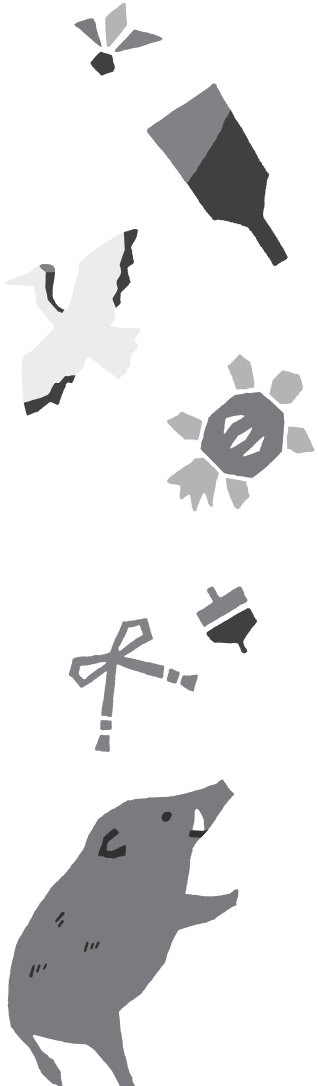
修 一

ひゅうひゅうと背戸を揺らす雪女郎
古文書に先祖を辿る冬の夜

信

妻の留守口ふさぐかに北塞ぐ
どの道も一時停止や十二月

恒 夫



今月の お知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

- 1月25日までに納めましょう
- 町民税(4期)
 - 固定資産税(4期)
 - 農集排使用料(1月分)
 - 後期高齢者保険料(6期)

募集

只見町職員(資格免許職・看護師)採用候補者試験を行います

平成31年度只見町職員(資格免許職・看護師)採用候補者試験を次のとおり行います。

●試験職種及び採用予定人員

・看護師 若干名

●受験資格(学歴不問)

昭和58年4月2日以降に生まれた者で、看護師免許を有するか平成31年3月末までに取得見込みの者

●試験の方法

高校卒業程度で次により行います。

教養試験、総合適性検査、小論文試験、面接試験

●試験の日時、場所

▽日時 2月17日(日)

午前9時受付く午後5時予定

※受験人数により前後します。

▽場所

只見町役場町下庁舎内

(只見字町下259130)

●発表

役場掲示板に合格者番号を掲示するほか、本人に通知します。

●採用

合格者は採用候補者名簿に登載され成績順に町長が採用者を決定します(この合格の有効期間は1年間です)。

●受験手続及び受付期間

▽申込用紙の請求

申込用紙は役場総務課及び朝日、明和振興センターで交付します。

▽申込方法

申込用紙は役場総務課に提出してください。

※郵送による場合は返信用封筒を同封すること。

▽受付期間

1月7日から1月25日まで

※郵送による場合は、1月23日までの消印のあるものに限り。

●問合せ先

▽只見町役場総務課 総務係

☎0241(82)5210

平成31年度 只見町奨学生を募集します

町では、優秀な人材を育成するため、無利子で奨学資金を貸与します。

●奨学資金の対象

▽平成31年度に高等学校・短期大学・大学又は専門学校などに進学を希望される方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。

●奨学資金貸与の条件

▽只見町出身の方で、貸与を希望される方の本籍又は住所が只見町に引き続き6ヶ月以上有すること。
▽経済的理由により修学が困難と認められること。

●利用可能額(貸与額)

▽高等学校/月額1万2千円以内

▽私立大学/月額4万円以内

▽国公立大学/月額3万円以内

▽短期大学/月額3万円以内

▽専門学校等(修業年限2年以上) /月額3万円以上

※支度金(4年制大学に限る)

大学入学時/30万円以内

●返還

8年以内で返還(詳しくはお問合せ下さい)

●申込方法

募集要項は教育委員会、朝日・明和振興センター、只見中学校、只見・南会津高校、町内各郵便局、東邦銀行只見支店、J A会津よつば只見支店に設置してあります。必要書類を添えて教育委員会へ申請して下さい。

●募集期限 2月18日(月)まで

●奨学生の採用決定

審査決定後、本人に通知します。通知は3月中旬頃の予定です。

●問合せ先

只見町教育委員会

☎0241(82)5320

保健師などを 目指す 奨学生を募集します

町では、次の職種を目指す方で、将来町の施設に従事しようとする方に対し、奨学資金を貸与します。

●対象となる職種

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

●対象となる条件

養成施設に在学または在所し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方。

●貸与額 月額10万円以内

●奨学金の返還及び免除規定

奨学資金貸与条例により原則10年以内に返還(免除規定あり。詳しくはお問合せ下さい)

●申込手続

申請書に必要な書類を添えて、保健福祉課に提出してください。申請書などは只見・南会津高校に送付していただきます。ご連絡いただいた方にも直接送付します。なお、進学予定の方も受け付けます。

●募集期間 2月15日(金)まで

●問合せ先

保健福祉課 保健係

☎0241(84)7005

田島税務署より

「平成30年分所得税等確定申告等」のお知らせ

●申告書作成会場の開設

- ・場所 田島税務署1階会議室
- ・期間 2月18日(月)～3月15日(金)
- ・時間 午前9時～午後5時

(受付時間は午後4時まで)

※期間前は会場を設置しておりません。
※混雑する場合は、早めに受付を終了することもありますのでご了承願います。

●配偶者控除及び配偶者特別控除の変更

配偶者控除及び配偶者特別控除が、配偶者の合計所得金額のほか、申告される方ご本人の所得金額に応じて適用されるとともに、控除額が変更されました。

●医療費控除は領収書の提出が不要です

領収書の提出の代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。
※医療費の領収書は自宅で5年間保存する必要があります。

※平成29～31年(2019年)分までの確定申告については、医療費の領収書の添付又は提示によることもできます。

●マイナンバーの記載などについて

確定申告書を提出する際は、「毎回マイナンバー(12桁)の記載」と「本人確認書類の提示又は写しの添付」が必要です。

【本人確認書類の例】

- ・例1 マイナンバーカード
- ・例2 通知カード+運転免許証など

●申告書作成は国税庁HPが便利です

国税庁のホームページ「確定申告書等作成コーナー」で所得税や消費税の申告書などを作成することができます。

※マイナンバーカードとICカードリーダー(電卓)を利用すれば、「e-Tax(電子申告)」を利用して提出できます。

※事前に税務署で手続きいただければ、マイナンバーカードとICカードリーダーをお持ちでない方もe-Taxをご利用できます。

※印刷して郵送などによる提出も可能。

●税金の納付は振替納税が便利です

▽申告所得税及び復興特別所得税、贈与税が3月15日(金)、消費税及び地方消費税(個人事業者)が4月1日(月)です。

▽振替納税をご利用の方は、申告所得税及び復興特別所得税の振替日が4月22日(月)、消費税及び地方消費税(個人事業者)の振替日が4月24日(水)です。

●問合せ先

田島税務署(※自動音声案内)

(Tel 0241(62)1230)



町長スケジュール

(12月分)

- | | |
|---------------------------------|---|
| 3日 議案検討庁議、
只見ユネスコエコパーク連絡調整会議 | 18日 ティーエヌアイ工業(株)社長来庁、
(株)季の郷湯ら里取締役会 |
| 4日 雪むすめ委嘱状交付式 | 19日 県立南会津病院訪問(南会津町) |
| 5日 滝調整池堆砂対策協議会、政策調整会議 | 20日 朝日診療所医師との懇談会 |
| 6日 南会津建設事務所長来庁、
一般質問検討庁議 | 21日 只見スキー場オープン式、
只見町議会全員協議会、
議会12月第2回会議 |
| 8日 菅家一郎環境大臣政務官就任祝賀会
(会津若松市) | 26日 阿賀川河川事務所長来庁、
民生児童委員協議会 |
| 11日 只見町議会12月会議(～17日) | 27日 (福)南会津会理事会(南会津町)、
南会津管内県出先機関年末挨拶 |
| 12日 JR仙台支社企画部長来庁 | 28日 仕事納めの式 |
| 15日 百歳高齢者賀寿贈呈式 | |
| 17日 土地改良区理事会 | |

町民の消息

(11月26日～12月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

鈴木いと(女/徹・利沙)只見

■ご結婚おめでとうございます

小川 渡部 錬♡中野 藍 叶 津
黒谷 皆川 範仁♡千代安衣里 黒谷

■おくやみ申し上げます

小萩澤 好美	83歳	亀岡
吉津 シズ子	84歳	長浜
星 タイ子	86歳	荒島
吉津 哲雄	85歳	長浜
五十嵐 俊夫	71歳	只見
菅家 万吉	86歳	長浜

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成30年12月1日現在

人口 4, 235 (ー 7)
男 2, 080 (ー 5)
女 2, 155 (ー 2)
世帯数 1, 862 (ー 2)
高齢化率 45. 88%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 2 転出 5 出生 3 死亡 7

▽明けましておめでとうございませう。本年も「広報ただみ」をよろしくお願ひいたします。

▽昨年の世相を1字で表す「今年の漢字」は「災」ということで、北海道胆振東部地震や西日本豪雨などの例年にはない規模の「災」害が日本各地を脅かし、防「災」の意識が高まったことから選ばれました。

▽平成最後の年を迎える2019年、只見町の「今年の漢字」は、8月1日の町制施行60周年を「祝」し、皆さんと共に盛大に「祝」賀できますよう「祝」の漢字に願いを込めて、本年も皆さまにとって良い年となりますようお祈り申し上げます。(三瓶)

あとがき

生涯学習サポーター
浅野リサ

明和振興センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★だいじょうぶだよ、モリス



カール＝ヨハン・エリーソン/著
(飛鳥新社)

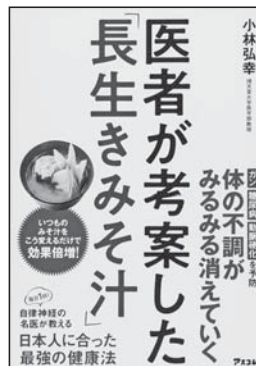
「魔法の言葉」で、子どもが感じるあらゆる不安がたちまち消える！
オリエンタルラジオ中田敦彦さんが初の翻訳！

子育ての「こんなとき、どうしたらいいの？」をたった1冊で解決！

さみしい気持ちや、嫌いな食べ物、虫が苦手、1週間のお話を通じて、子どもも親も困りがちな日常の場面を網羅。

『おやすみ、ロジャー』同様の心理学的アプローチが生んだ、これまでにない実用的・子育て絵本です。

★医者が考案した「長生きみそ汁」



小林弘幸/著(アスコム)

体の不調がみるみる消える日本人にとって最強の健康法!!

特に食事は重要です!そこで本書が提案する健康法が一日1杯の「長生きみそ汁」生活です。しかも作り方はすごく簡単!本書で紹介している材料を、混ぜ合わせて凍らせる。たったこれだけで「長生きみそ汁」の素「長生きみそ玉」が作れます。さらに「長生きみそ汁」は野菜を追加していけばいくほど効果がどんどん倍増していきます。

ぜひ一日1杯の「長生きみそ汁」生活をはじめ健康長寿を実現しましょう!

★明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

ニホンイノシシ (学名: *Sus scrofa leucomystax*)

[ウシ目 イノシシ科]



▲2013年12月、荒島で撮影されたニホンイノシシ

▲ニホンイノシシの頭骨

イノシシは、北アフリカからユーラシア大陸に広く生息しています。ニホンイノシシは日本固有亜種で本州・九州・四国に分布しており、大きいものは体長170cm・体重180kgを超える大型哺乳類です。同じウシ目のウシ、ヒツジ、ヤギは堅い植物を消化するために複数の胃を持ちますが、イノシシは人と同じ1つの胃しか持っていないので、消化しやすく栄養価の高い植物の根茎や木の実、ミミズやトカゲなどの小動物、そして農作物を好んで食べます。

かつては狩猟対象として、また農作物を荒らす害獣として狩猟・駆除が行われ人里から姿を消しましたが、1950年頃から現在にかけて個体数の増加と分布域の

拡大が続いており、農業への被害も深刻化しています。2016年には、全国で狩猟・有害駆除により62万頭が捕獲されていますが、生息数はほぼ横ばいを示しています。

1980年頃のイノシシの分布は、30cm以上の積雪が70日以上続く地域ではほとんど確認されておらず、雪が生息を阻害する要因として考えられていました。しかし、現在では多雪地帯とされる会津地方でもその生息が確認されています。只見町でも1990年代後半より目撃情報があり、2013年12月には朝日地区荒島に仕掛けた自動撮影カメラでその姿が捉えられました。目撃件数はまだ多くはありませんが、今後の只見町での個体数増加が懸念されます。

企画展

「只見の外来生物 — その生態と影響」

と き:3月18日(月)まで開催中

ところ:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

講座

「外来生物をどう防ぐかー外来種問題を知るところから始めよう」

講 師:池上 真木彦 氏(国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター)

と き:2月17日(日)13:30~15:30

ところ:朝日振興センター 2階ホール(参加費/無料)

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

只見スキー場でオープン式

12月21日、只見スキー場のオープン式が現地で行われ、関係者など約30名が出席しました。式では、施設を運営する会津ただみ振興公社社長の菅家町長が「今季のリフト営業は22日開始予定でしたが、雪不足のため降雪があるまで延期いたします。利用者の安心・安全をモットーに取り組んでいきたい」とあいさつし、安全を祈願し、齋藤邦夫町議会議長の音頭で乾杯が行われ、関係者のテープカットでスキー場のオープンを祝いました。スキー場内のレストランは既に営業を始めています。



▲テープカットでオープンを祝う関係者の方々